

不具合事例		整理番号 C-01-005	
タイトル	舗装された土地の土壌試料採取で、裸地を想定した道具しか用意しなかった！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「現場は本当に裸地ですか？」</p>		
作業内容	土壌試料採取		
使用機器	ダブルスコップ、ハンドオーガー、コアカッター		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 裸地での表層（0～5cm）及び深さ 5～50cm 土壌試料の採取を想定していたが、実際は舗装により被覆された土地であり、コアカッターを用意していなかったため、土壌試料を採取することができなかった。 コアカッターを準備して土壌試料採取を再開したが、予定していた工程では作業を完了できなくなった。 			
予防措置（計画者・監督者・作業員）			
<ul style="list-style-type: none"> 持ち込み機材を確認する（監督者）。 事前に被覆物の構造を把握する（計画者）。 監督者に対して的確に使用機材を伝達する（計画者）。 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 監督者は速やかに必要機材の手配を行い、事実を計画者に連絡する。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> ダブルスコップやハンドオーガーは人力の土壌採取道具であり、アスファルトやコンクリートで被覆された土地では土壌を採取することができない。このような場合、コアカッター等の機材が必要になる。¹⁾ 裸地の場合でも、汚染のおそれの生じた場所の位置（深さ）と地表面が一致しない場合²⁾は、人力の土壌採取道具だけでは土壌試料が採取できないことも想定されるため、計画者は土壌試料を採取する深度を事前に作業員に伝える必要がある。 			
関連法規等、出典	1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂版 Appendix-8 2) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂版 p. 160-165		
キーワード	コアカッター、ダブルスコップ、ハンドオーガー		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

舗装された土地の土壌試料採取で、裸地を想定した道具しか用意しなかった！

説明図

「現場は本当に裸地ですか？」



作業内容

・土壌試料採取

指示事項

- ・持ち込み機材の確認し、現地の土壌試料採取に適しているか確認すること。
- ・現地において土壌試料の採取深度を再確認すること。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン